

保護者の願い

本日は、国会議員の先生方には、お忙しい中ご臨席を賜り、本当にありがとうございます。日頃の私学教育の振興発展へのお力添えに対して改めて感謝申し上げます。

現在、わが国は、少子高齢化が進行する中で、様々な困難に直面しています。そのような中であっても、私たち保護者が願うのは、子供たちが立派に成長し、これからの社会でそれぞれの分野で役割を担ってくれることです。子供たちを育てるのは、先ずは私たち保護者の責任ではありますが、子供たちの能力や希望に応じて、自ら選択した学校でより良い教育が受けられるよう環境を整備するのは、学校と保護者と国の責任だと考えています。子供たちが安全・安心で充実した学校生活を送れるよう、国による経常費助成の充実とともに、私立学校の耐震化をはじめとする施設・設備への支援についても、国公立学校と区別なく早急な対応をお願いいたします。

また、「高等学校就学支援金」は、加算の拡充などの制度の見直しにより、私立高等学校に学ぶ生徒の授業料負担は軽減されましたが、それでもなお、公立高校生と比較すると格差は大きいままです。私たちは、その是正とともにさらに、平成29年度よりスタートした私立小中学校等の児童生徒に対する一層の経済的支援の拡充についてもお願いいたします。

私たち保護者は、私学の建学の精神に基づく特色ある教育方針に賛同し、様々な選択肢の中から子どもたちに良かれと考え、私学に学ばせています。決して経済的にゆとりがある家庭ばかりではありません。家庭の経済状況により子どもたちの自由な学校選択が妨げられることなく、より良い教育を受けられるには、学校に対する私学助成をはじめとして、これまで以上の公的な支援措置が、必要不可欠なことと考えています。

つきましては、私立学校保護者の学費負担のさらなる軽減措置の拡充と子どもたちの教育環境の改善のため、関連の政府予算がさらに充実されるよう、ご臨席の国会議員の先生方のご指導とお力添えを切望いたします。

平成29年11月21日

私学振興全国大会 保護者代表

千葉県私立小・中・高等学校保護者会連合会副会長 中島由香里